

栄養部門よりお知らせ

創刊号
2022年
1月発行

ごあいさつ

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。
幸多き一年になりますようにお祈り申し上げます。
そして...はじめまして！ご覧いただきありがとうございます。
今年から、皆さんに少しでもイムス栄養部門の業務内容や活動内容をお伝えできるように、
お知らせをすることになりました！お知らせは月1回、管理栄養士が発信していきます。
楽しみにしてください！



今月はIMS栄養学会をご紹介します！！

2021年11月20日（土）IMS栄養学会が開催されました！



【IMS栄養学会とは...？】

イムスグループ栄養部門内の各病院・施設での取り組み報告や情報共有の場です。
仲間がどのような研究・発表をしているのか、切磋琢磨しながら高めあえる良い機会となっております。
栄養管理、給食管理、教育・業務改善・チーム医療などの発表がありました。
今年度は新型コロナウイルスの感染対策のためWeb上での開催となりました。

学会テーマ

理想の追求

～今の時代に求められるスペシャリストになるためには～

演題一覧

- ・褥瘡を有する短腸症候群患者における経口と中心静脈栄養を併用した栄養管理の症例
- ・栄養情報提供書作成件数増加への取り組み
- ・NST考案食で摂取量が改善し、転院可能となった一例
- ・栄養摂取量増加に向けたペースト食の改良の取り組み
- ・誤嚥防止を目的とした食形態・食事ルールの見直しの取り組み
- ・厨房衛生管理の見直しとATP値改善に向けた取り組み
- ・禁止食のアクシデント減少のための取り組み
- ・冷凍食品を使用した味噌汁のうま味向上のための取り組み
- ・1-3年目の教育プログラムの取り組みについて
- ・認知症治療病棟における調理プログラムの取り組み
- ・認知症患者の外来栄養指導における多職種連携について
- ・コロナ禍における集団栄養指導の現状

多数の応募の中から
12演題の発表がありました！

この中から3名の
優秀演題が選ばれました。
次ページで
受賞の声をお届けします！



～栄養学会受賞者紹介～

Congratulation!!



横浜旭中央総合病院
押尾 実可子

演題テーマ

禁止食のアクシデント減少のための取り組みについて

アレルギーなど禁止食を提供しないシステムの構築や講習会を企画したことでIMS栄養科の目標でもある「安全・安心な食事提供」に一步近づけた取り組みを発表しました。

3年目で初めての学会演題に応募し、優勝演題賞を頂くことができてとても嬉しかったです。発表者は私でしたが、横浜旭中央総合病院栄養科全員で取り組んだ内容だったため、全員で喜びを分かち合いました！

Congratulation!!



三愛会総合病院
保阪 詩織

演題テーマ

栄養摂取量増加に向けたペースト食の改良の取り組み
～患者の栄養状態改善及び満足度向上を目指して～

今回の取り組みは、栄養科、看護部の業務改善、患者の満足度向上に寄与することができました。普段の業務の取り組みをこのように評価していただき、とても嬉しく思います。ペースト食はまだ改良の余地があるため、さらなる改良に努めていきたいです！

三愛会総合病院は来年、移転を控えているため、今回の取り組みのように、様々な問題を抽出し、移転後の厨房業務にも活かしていきたいと思います。

Congratulation!!



鶴川サナトリウム病院
海老沢 咲

演題テーマ

認知症治療病棟における調理プログラムの取り組み

調理プログラムってなんだろうという方に伝えたい、当院で行っている取り組みです！病を治すためには食事制限だけでなく、楽しいと思う気持ちや意欲の向上も重要です。

慢性期病院の管理栄養士はどのようなことをしているかを伝えたい！という思いで発表しました。優秀演題を受賞し、自身の行っている業務に、より自信を持てました。今後もっと患者様や他職種、自分も一緒に楽しいことをしていきたいなと色々構想中です。